

第6学年 外国語活動学習指導案

平成31年1月23日(水) 第5校時

場 所 氷川ルーム

児童数 30名

指導者 教 諭

ALT

1 単元名 What do you want to watch? オリンピック・パラリンピック

2 単元について

本単元は、小学校学習指導要領外国語活動の内容(4)ウ「話すこと「やり取り」ウ「身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。」をもとに構成されている。

本単元は2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックを題材としている。このような世界的なイベントに児童が興味をもち、東京オリンピック・パラリンピックを通して世界に目を向けることができるようになることは、たいへん意味があると考えられる。興味のある競技や応援したい種目について友だちと話し合ったり、発表したりすることは、児童にとって聞きたい、話したいという思いをもって学習に取り組むことができると思われる。ここでは、多くの競技名が言語材料として用いられるが、judoのように、日本語から英語になった言葉もあることに気付かせながら、言葉に対する興味も育みつつ、楽しくコミュニケーション活動ができるようにする。これらを踏まえて、本単元ではオリンピックやパラリンピックで見たい競技とその理由について、自分の思いや気持ちを伝え合う。単元のゴールでは、友だちにおすすめの競技について、プレゼンを行う。プレゼンでは、英語を正しく発音することや相手に配慮しながら伝えることを意識させたい。

また、幼保小中を一貫とした教育の視点として、この項目は、中学校の外国語科での(4)「話すこと[発表]」イ「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする」につながる。

3 児童の実態

4 単元のねらい

- (1) 国名や競技名等について、聞いたり読んだりできる。 (知識及び技能)
- (2) オリンピック・パラリンピックで見たい競技とその理由などについて伝え合う。
(思考力、判断力、表現力)
- (3) 他者に配慮しながら、オリンピック・パラリンピックで見たい競技とその理由などについて伝え合おうとする。
(学びに向かう力、人間性等)

5 学校研究課題（研究テーマ）との関連

**未来に向かう力をもった氷川っ子の育成
～一人ひとりのコミュニケーション能力を高める取組を通して～**

◇めざす児童像

- 外国語でのコミュニケーションに意欲的な児童
- 外国語の音声に慣れ親しみ、日常生活の簡単な英語を聞いたり話したりできる児童
- 外国語の文字に慣れ親しみ、簡単な英語を読んだり書いたりしようとする児童

◇研究の仮説

- ・ 目的意識をもたせることで、外国語でのコミュニケーションへの関心が高まるであろう。
- ・ 多様な聞く活動を取り入れることで、外国語での音声に慣れ親しみ、類推して内容を聞く力が育つであろう。
- ・ 繰り返し外国語を話す活動を取り入れることで、外国語での言い方を理解し、自分の考えや気持ちを話す力が育つであろう。
- ・ 文字に触れる場面を多く設定すれば児童が自然に読もうとしたり、書こうとしたりする力がそだつであろう。

◇研究の仮説にせまるための手立て

手立て1（単元設定の工夫）

【目的意識・相手意識をもたせる】

「東京オリンピック・パラリンピックのおすすめ競技を友達に伝えよう」を単元の最終的なねらいにし、目的意識・相手意識を明確にもたせる。また、単元の初めのデモンストレーションでモデルを示し、単元のゴールイメージをもたせる。そして、教師によるオリンピック・パラリンピックのプレゼンテーションやオリンピック・パラリンピックについて知っていることについて児童に発表させることで、学習に対する興味・関心をもたせるようにする。

ここでは、オリンピック・パラリンピックを紹介する映像や競技に出場する選手の画像を使って、より興味・関心が高められるようにする。

手立て2 (繰り返し外国語を話す活動)

【Small Talk の活用】

- ① 毎時間の授業の中で、Small Talk の積み重ねを行うことで、単元の中で会話表現を終わらせるのではなく、豊かなコミュニケーションができる児童を育てる。授業の始めの Small Talk では、前時までの既習内容の復習を中心に行うことで、本時のねらいが達成できるようにする。授業の終わりの Small Talk では、本時で学習したことを生かし、児童主体の伝え合いをさせる。言葉のやり取りではなく、ジェスチャーや表情、リアクションなどを通して、会話をつなぐ力を育てる。
- ② フラッシュカードや状況設定フラッシュカード、そしてアクティビティを通して、変化のある繰り返しでリピート練習をすること、型を示して反復練習をさせること、などスモールステップで聞く・話す活動を取り入れることで、外国語での音声に慣れ親しみ、類推して内容を聞いたり、話したりする力を育てる。

6 単元の計画 (7時間扱い)

時	目標	活動	使用表現	評価規準 (評価方法)
1	東京オリンピック・パラリンピックについて知り、自分の得意なスポーツを伝え合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶 ・ウォームアップ (気分・天気など) ・Small Talk① ・Sounds and Letters ・単元の課題を知る。 ・本時の課題を知る ・アクティビティ 「Let's Play1」 ・Small Talk② ・「Let's Watch and Think1」 ・Writing Time 「Let's Read and Write」 ・振り返り 	<p>I like (basketball) . Are you good at (basketball) ? Yes, I am. No, I'm not</p> <p>Olympic Games, Paralympic Games, スポーツ・競技名 (wheelchair marathon, sitting volleyball, para swimming, athletics, gymnastics, football など),</p>	<p>・[] 互いの得意なスポーツなどを聞いたり、言ったりしている。<行動観察・振り返りカード点検></p>
2	国名を言ったり読んだりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶 ・ウォームアップ (気分・天気など) ・Small Talk① ・Sounds and Letters ・本時の課題を知る ・アクティビティ① 「Let's Talk」 ・アクティビティ① 「国旗クイズ」 ・Small Talk② ・「Let's Watch and Think2」 ・Writing Time 「Let's Read and Write」 ・振り返り 	<p>I want to watch (wheelchair basketball). I like (basketball). Are you good at (basketball)? Yes, I am. / No, I'm not.</p> <p>Olympic Games, Paralympic Games, スポーツ・競技名 (wheelchair marathon, sitting volleyball, para swimming, athletics, gymnastics, football など), 国(Malaysia, Norway, Turkey, Vietnam)</p>	<p>・[] 国名を言ったり読んだりしている。<行動観察・振り返りカード点検></p>

3	東京オリンピック・パラリンピックで、見たい競技とその理由について尋ねたり答えたりできる。	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶 ・ウォームアップ (気分・天気など) ・Small Talk① ・Sounds and Letters ・本時の課題を知る ・アクティビティ 「Let's Play2」 ・Small Talk② ・Writing Time 「Let's Read and Write」 ・振り返り 	<p>What do you want to watch? I want to watch (wheelchair basketball). I like (basketball). Are you good at(basketball)? Yes, I am. / No, I'm not. Olympic Games, Paralympic Games, スポーツ・競技名 (wheelchair marathon, sitting volleyball, para swimming, athletics, gymnastics, football など), 国(Malaysia, Norway, Turkey, Vietnam)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・[] 見たい競技について、尋ねたり答えたりしている。<行動観察・振り返りカード点検>
4	東京オリンピック・パラリンピックで何の競技を、いつ見たいかとその理由について、尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶 ・ウォームアップ (気分・天気など) ・Small Talk① ・Sounds and Letters ・本時の課題を知る ・アクティビティ 「Let's Read and Write1」 ・プレゼン準備 「おすすめの競技を友達に紹介しよう」 ・Small Talk② ・Writing Time 「Let's Read and Write」 ・振り返り 	<p>What do you want to watch? I want to watch (wheelchair basketball). I like (basketball). Are you good at(basketball)? Yes, I am. / No, I'm not. Olympic Games, Paralympic Games, スポーツ・競技名 (wheelchair marathon, sitting volleyball, para swimming, athletics, gymnastics, football など), 国(Malaysia, Norway, Turkey, Vietnam), evening, window</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・[] 見たい競技について、尋ねたり答えたりして伝え合っている。<行動観察・振り返りカード点検>
5	東京オリンピック・パラリンピックの競技名を読むことができるとともに、何の競技をいつ見たいかとその理由について聞いたり言ったりできる。	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶 ・ウォームアップ (気分・天気など) ・Small Talk① ・Sounds and Letters ・本時の課題を知る ・アクティビティ 「Actinity1」 ・プレゼン準備 「おすすめの競技を友達に紹介しよう」 	<p>What do you want to watch? I want to watch (wheelchair basketball). I like (basketball). Are you good at(basketball)? Yes, I am. / No, I'm not. Olympic Games, Paralympic Games, スポーツ・競技名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・[] 何の競技をいつ見たいかとその理由について伝え合っている。<行動観察・振り返りカード点検>

		<ul style="list-style-type: none"> ・ Small Talk② ・ Writing Time 「Let's Read and Write2」 ・ 振り返り 	(wheelchair marathon, sitting volleyball, para swimming, athletics, gymnastics, football など), 国(Malaysia, Norway, Turkey, Vietnam), evening, window	カード点検>
6	他者に配慮しながら、見たい競技名を表す語を書き写したり、おすすめの競技とその理由などについて伝え合ったりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 挨拶 ・ ウォームアップ (気分・天気など) ・ Small Talk① ・ Sounds and Letters ・ 本時の課題を知る ・ アクティビティ 「おすすめの競技を友達に紹介しよう」 ・ Small Talk② ・ 振り返り 	<p>What do you want to watch? I want to watch (wheelchair basketball). I like (basketball). Are you good at(basketball)? Yes, I am. / No, I'm not. Olympic Games, Paralympic Games, スポーツ・競技名</p> <p>(wheelchair marathon, sitting volleyball, para swimming, athletics, gymnastics, football など), 国(Malaysia, Norway, Turkey, Vietnam), evening, window</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ [] 見たい競技名を書き写している。<行動観察・振り返りカード点検> ・ [] 他者に配慮しながら、おすすめの競技名とその理由などについて伝え合っている。<行動観察・振り返りカード点検>
7 本 時				

7 本時の学習指導 (7/7時)

(1) 本時のねらい

- ・ 他者に配慮しながら、見たい競技名を表す語を書き写したり、おすすめの競技とその理由などについて伝え合ったりすることができる。

(2) 評価規準

- ・ 見たい競技名を書き写している。
- ・ 他者に配慮しながら、おすすめの競技名とその理由などについて伝え合っている。

(学びに向かう力、人間性等)

(3) 展開

活動内容 (時間)	児童の活動	ティーム・ティーチング		○指導上の留意点 ◆評価規準 (評価方法) ☆学力向上プランとの関連 ★「草加っ子の学びを支える授業の5カ条」との関連
		担任の活動	ALTの活動	
1 挨拶 ウォーム アップ(2分)	・ 英語で挨拶をする。	・ 全体で挨拶した後、今日の気分や天気などを確認する。		○楽しく学習する雰囲気を作る。

<p>2 Small Talk① (5分)</p>	<p>・ペアで挨拶や既習事項を使い会話をします。</p>	<p>・児童の様子を見て、支援する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Topic "Sports"</p> <p>S1: Hello. S2: Hello. S1: Do you like sports? S2: Yes, I do. I like sports. S1: What sports do you like? S2: I like basketball. S1: What do you want to watch in the Tokyo Olympic? S1: Why? S2: Because it's exciting.</p> </div>	<p>○今まで習ってきた表現を確認し、必要な内容を選んで伝えるようにさせる。</p>	
<p>3 Sounds and Letters (3分)</p>	<p>・ジングルを聞き、その音を四線に書く。</p>	<p>・児童の様子を見て支援する。</p>	<p>・ジングルを発音する。</p>	<p>○文字と音のつながりを意識させる。</p>
<p>4 本時の課題を知る。(1分)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> <p>おすすめの競技を友達と伝え合おう。</p> </div> <p>・黒板に書く</p>		<p>★第1条「学習の目標(めあて)を明らかにする」</p>	
<p>5 アクティビティ 「おすすめの競技を友達に紹介しよう」 (28分)</p>	<p>・デモンストレーションを見る。</p>	<p>・デモンストレーションを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>おすすめの競技 "Boccia"</p> <p>My favorite sport is Boccia We have four players. We use a ball. He is Takayuki Hirose. He is good at throwing a ball. He is a silver medalist in Rio. I want to watch Takayuki Hirose. Let's watch Boccia.</p> </div>	<p>○言葉だけでなく、ジェスチャーも入れることで、相手に伝わることを確認する。</p>	
	<p>・流れを確認し、自分のプレゼンを見直し、練習する。</p> <p>・やり方を確認する</p> <p>話し手</p> <p>・1分でおおすすめの競技を紹介する(1分×3人)</p>	<p>・流れを確認し、自分のプレゼンを見直し、練習させる。</p> <p>・やり方を説明する。</p>		<p>★第2条「児童が自分で考える時間を設ける」</p> <p>○前時に活用した掲示物を活用しながら、確認する。</p>

<p>聞き手</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見たい競技名と理由を伝える。(1分) 			
<ul style="list-style-type: none"> ・おすすめの競技を紹介する。① 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の様子を見て支援する。 ・プレゼンがうまくいっていないグループには、話の流れを聞き、助言する。 		<p>★第3条「児童生徒が表現と交流をする場を設ける」</p> <p>☆プレゼンでは、聞き手は、競技の魅力や友だちのプレゼンの良さを探しながら聞く。</p>
<p>評価規準</p> <p>◆他者に配慮しながら、おすすめの競技名とその理由などについて伝え合っている。 (観察・ワークシート・振り返りカード)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・B規準に達した児童への手立て おすすめの競技名とその理由について、相手により伝わるようにジェスチャーを交えてプレゼンを行ったり、いくつかの理由を言ったりするように助言する。 ・B規準に達していない児童への手立て 事前に作成したプリントを見ながら、競技名とその理由を言うように助言する。 			
<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンの仕方を意見交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話合いの流れに沿った質問、スムーズに進んでいる児童を見本として、紹介する。プレゼンの途中でも、全体で取り上げる。 ・状況に応じてプレゼンがうまくいかない児童も取り上げ、どこを改善するのか考え、意見交流させる。 		<p>○どんなところが良かったか、発表させ、良いイメージを共有させる。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・おすすめの競技を紹介する。② 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の様子を見て支援する。 ・プレゼンがうまくいっていないグループには、話の流れを聞き、助言する。 		<p>★第4条「学んだことを活用する場を設ける」</p> <p>○個々のがんばりを賞賛したり、助言したりする。</p>
<p>評価規準</p> <p>◆他者に配慮しながら、おすすめの競技名とその理由などについて伝え合っている。 (観察・ワークシート・振り返りカード)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・B規準に達した児童への手立て おすすめの競技名とその理由について、相手により伝わるようにジェスチャーを交えてプレゼンを行ったり、いくつかの理由を言ったりするように助言する。 ・B規準に達していない児童への手立て 事前に作成したプリントを見ながら、競技名とその理由を言うように助言する。 			

	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンを聞き、見たい競技名を写す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンを振り返り、どの競技を見たいか考えさせ、競技名を写させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○オリンピック・パラリンピック一覧表を見て、正しく写すように、助言する。
<p>評価規準</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆見たい競技名を書き写している。(観察・ワークシート・振り返りカード) ・B規準に達した児童への手立て 競技名を書き写すだけでなく、I want to watch basketball. など文章の中で使えるように助言する。 ・B規準に達していない児童への手立て プリントに書かれた競技名を見て、単語を発音しながら写すように助言する。 			
6 Small Talk ② (2分)	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習と既習事項を使い、会話をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の様子を見て、支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○今まで習ってきた表現を確認し、必要な内容を選んで伝えるようにさせる。
7 振り返りをする。 (3分)	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を振り返り、感想を発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ★第5条「学習のまとめと振り返りの時間を設ける」 ○児童のがんばりや良さを認め、全体へ広げる。
8 次時の学習の見通しをもつ。 (1分)	<ul style="list-style-type: none"> ・次時の学習を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次時の学習を伝え、見通しをもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童へ見通しをもたせることで、意欲を高める。